



# Hello! from LONDON

11.June.2022 No.3

五味 公人



皆さんお元気ですか？ 安倍元首相の事件はBBCでもトップニュースでした。すぐに、日本人社会にも衝撃が走りました。日本人学校の職員室でも、皆が朝からその話をしていました。英国国民も、少なからずショックを受けています。あの安全な日本で起きたことが、信じられないのです。いくら意見の違いなどがあったとしても、暴力はいけません。ましてや命を奪うことは絶対いけません。今回のことを機に、改めて世界の人々が認識してくれることを願います。謹んでご冥福をお祈りします。

先週のもう一つの大きなニュースとして、イギリスのジョンソン首相の辞任があります。こちらは現地では、「やっと辞めるのか」という反応です。ただ、ウクライナに対して、どこの国の首脳より強く支持をしてきたジョンソン首相ですので、今後、対ロシアということで、各国の足並みがそろえるのかどうかという心配もされています。早く戦争が終わるのを祈るばかりです。

さて、ロンドン日本人学校は、7月9日（土）に、第45回運動会を行いました。場所は校庭ではなく、プロラグビーの強豪チームのホームスタジアムで行いました。実はここで行うのは、コロナ前からの定番なのですが、初めて入った時には、その素晴らしさに胸が躍りました。ふかふかの人工芝のグラウンドに色鮮やかなシートが並ぶスタンド、広い広いスタジアム。そんなところで運動会ができる喜びを、児童生徒より先に、下見の時に感じました。

ロンドン日本人学校は小中一貫校ですので、9学年、300名の児童生徒が一堂に会し、プログラムを進めていくのですが、目玉は、何といても紅白に分かれての応援合戦。この日までに中3生



を中心に何度も応援歌やコールの練習を重ね、紅組・白組とも、スタジアムに響き渡る勢いのある大きな声で演じ切りました。鳥肌が立ちました！

もう一つの目玉は、全校種目の「大玉送り」です。小1児童より背の高い玉ですので、転がってきた大きな玉を

中3生が列の上に乗せ、全員の頭の上を転がしていきます。どうしたらミスなく速く運べるのか、それを小学校低学年の子に教える中学生の姿は、見ていてほほえましかったです。

紅白対抗リレーも同じで、小1～中3までがバトンをつなぎます。これまた大きな子が小さな子の世話をし、バトンパスのコツや作戦を伝える様子は、思わず目じりが下がってしまいました。

小中一貫校ですので、こういった大きな行事の際には、大きな子たちは小さな子たちのことを思いやり、よき手本となろうと考えます。下手なことはできません。そうやって、年長者としての自覚と、自らの行動を律する姿勢が育まれていきます。また、小さな子たちは、年長者をよきロールモデルとし、自分もそういう存在になりたいと考えます。だから「お兄さん、お姉さんの後ろについてきてね。」と言って並べる時は、どちらもとてもいい顔をしています。小中一貫校のよさですね。その他の種目は、日本の運動会と全く変わらず、「徒競走」「綱引き」「玉入れ」などが行われます。得点種目になると、応援団を中心に「がんばれ～」と、

学年関係なく応援をします。日本と違うのは、この日の最高気温が25℃で、日なたでも湿度がなくて過ごしやすかったことでしょう。だから式の最中に気分が悪くなった子は、全くいませんでした。それともう一つ、来賓・保護者も含め、全員ノーマスクでした。完全に「with コロナ」です。

